

Denka

Possibility
of
chemistry

2023年9月22日 個人投資家説明会

証券コード：4061

デンカ株式会社

コンプライアンスと安全強化に向けて

品質・安全に関する重大な事案が発生

品質

(2023年5月29日) 東洋スチレン(持分法適用関連会社)および当社の樹脂製品における第三者認証等の不適切行為

https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/1137/20230529_denka_styrene_ul.pdf

進捗状況および今後の進め方

- ・中立な社外専門家から構成される外部調査委員会を設置し調査中
- ・本不適切行為に関する徹底的な調査、原因究明および再発防止策の策定を実施し報告予定

安全

(2023年6月14日) 青海工場における死亡事故

https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/1140/20230614_denka_omi.pdf

(2023年7月11日) 青海工場 配管破裂事故に関する事故調査委員会の設置

https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/1145/20230711_denka_investigation_committee.pdf

進捗状況および今後の進め方

- ・社外有識者・専門家を含む事故調査委員会を設置、第1回事故調査委員会にて委員長を決定
- ・本委員会による事故調査を実施中、報告書がまとまり次第報告予定

続けて発生した2件の事案は、製造会社として最も重要な「安全及び品質の確保」という経営の根幹を揺るがすものであり、極めて深刻な事態と受け止め反省。

原因究明および対策の策定、その着実な実行を喫緊の経営課題として、再びこの様な事態を引き起こすことがないように、社長がトップとして責任をもって対処。

全ステークホルダーからの信頼回復に向けて、デンカグループ一丸となって今後一層のコンプライアンスと安全の強化に努める。

(はじめに) コンプライアンスと安全強化に向けて	01
--------------------------	----

1 Denkaの事業概要とビジョン

① Denkaの概要と事業	03
② 前経営計画「Denka Value-Ip」	04
③ 2023年度 通期連結業績の見通し	05
④ 新たなビジョンを策定	06
⑤ 今後想定される世界から注力分野を設定	07

2 経営計画「Mission2030」

① 売上高・営業利益目標	08
② 事業価値創造	09-12
③ 人材価値創造	13
④ 経営価値創造	14
⑤ 財務・非財務KPI	15

(参考) 経営計画「Mission2030」3つ星事業の定義	16
--------------------------------	----

(参考) 経営計画「Mission2030」メガトレンドの内訳	17
---------------------------------	----

(参考) IR資料関連リンク	18
----------------	----

Denkaの概要と事業

Denka

創業

1915年

資本金

370億円

従業員数
(連結)

6,406人

売上高
(連結)

4,076億円
(国内60%、海外40%)

営業利益
(連結)

323億円
(営業利益率7.9%)

※2022年度実績

電子・先端プロダクツ部門



主要製品

- 球状アルミナ
- 窒化ケイ素
- アセチレンブラック
- 電子部品・半導体
搬送用シート・テープ

ライフイノベーション部門



主要製品

- インフルエンザワクチン
- 抗原検査キット
- 検査試薬
- がん治療用ウイルス
“G47Δ”製剤

エラストマー・ インフラソリューション部門



主要製品

- クロロプレンゴム
- 特殊混和材
- 農業・土木向け
暗渠排水管
- 肥料

ポリマーソリューション部門



主要製品

- スチレン系機能樹脂
- ポパール
- ウィッグ製品用原糸
- 食品包装シート・容器

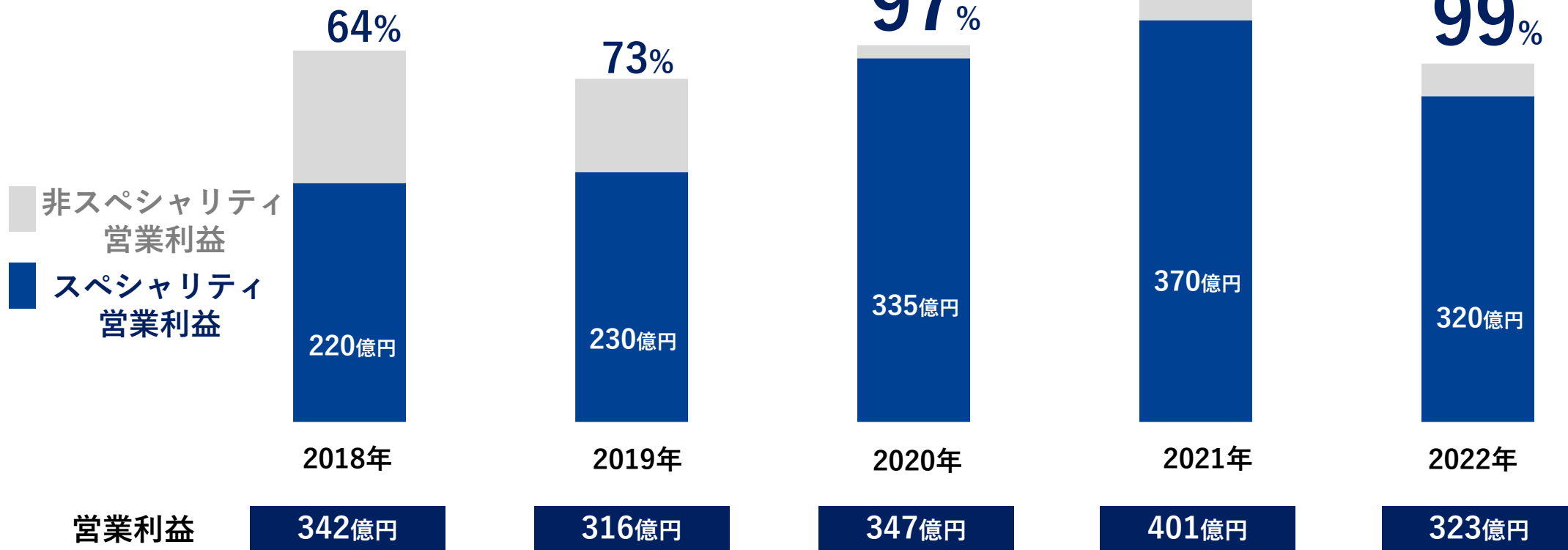
新事業開発部門

スタートアップとの協業やコーポレートベンチャーキャピタル（CVC）設立など、新たな事業創出の実行

前経営計画「Denka Value-Up」(2018~2022年度)

Denka

スペシャリティ比率



石灰石の自社採掘及びセメント製造事業からの完全撤退を決議 (2022年10月25日発表)

2025年度上期を目途に完全撤退

企業価値向上に向けて、経営資源を成長分野へ集中

2023年度 通期連結業績の見通し

Denka

営業利益 単位：億円	2022年度 実績	2023年度 期初予想 (5月11日発表)	増減	
電子・先端プロダクツ	180	150	△	30
ライフイノベーション	144	95	△	49
エラストマー・インフラソリューション	△11	25	+	36
ポリマーソリューション	△12	45	+	57
その他／消去差	23	15	△	8
合計	323	330	+	7
配当	100	120		
総還元性向	67.5%	47.0%		

2023年度 第1四半期決算（8月7日発表）にて、クロロprenゴムや民生向け製品の需要が想定を下回ったことから、上期予想を下方修正（営業利益125⇒90億円）
下期の経済環境が不透明であることから、現時点では通期予想は据え置く

コアバリュー

「挑戦」：化学の可能性に挑み続けます。

「誠実」：真摯な姿勢で、仕事に取り組みます。

「共感」：多様性を尊重し、安心安全な社会を創ります。

パーパス

化学の力で

世界をよりよくする

スペシャリストになる。

ミッション

2030年までに、人財・経営価値を高め

スペシャリティ・メガトレンド・サステナビリティの

3要素をそなえた事業価値創造に集中する。

コーポレートメッセージ

世界に誇れる、化学を。

今後想定される4つの未来世界から注力分野を設定

Denka

4つの世界

サステナビリティ

進化する
テクノロジー

世界的な人口増加

揺らぐ秩序

メガトレンド

再生可能エネルギー
モビリティ大変革
半導体やデバイス需要拡大

医療ニーズ高度化
革新的な医療技術

食糧・水資源枯渇
インフラ需要増大

デンカの注力分野



ICT & Energy

ICT & エナジー



Healthcare

ヘルスケア



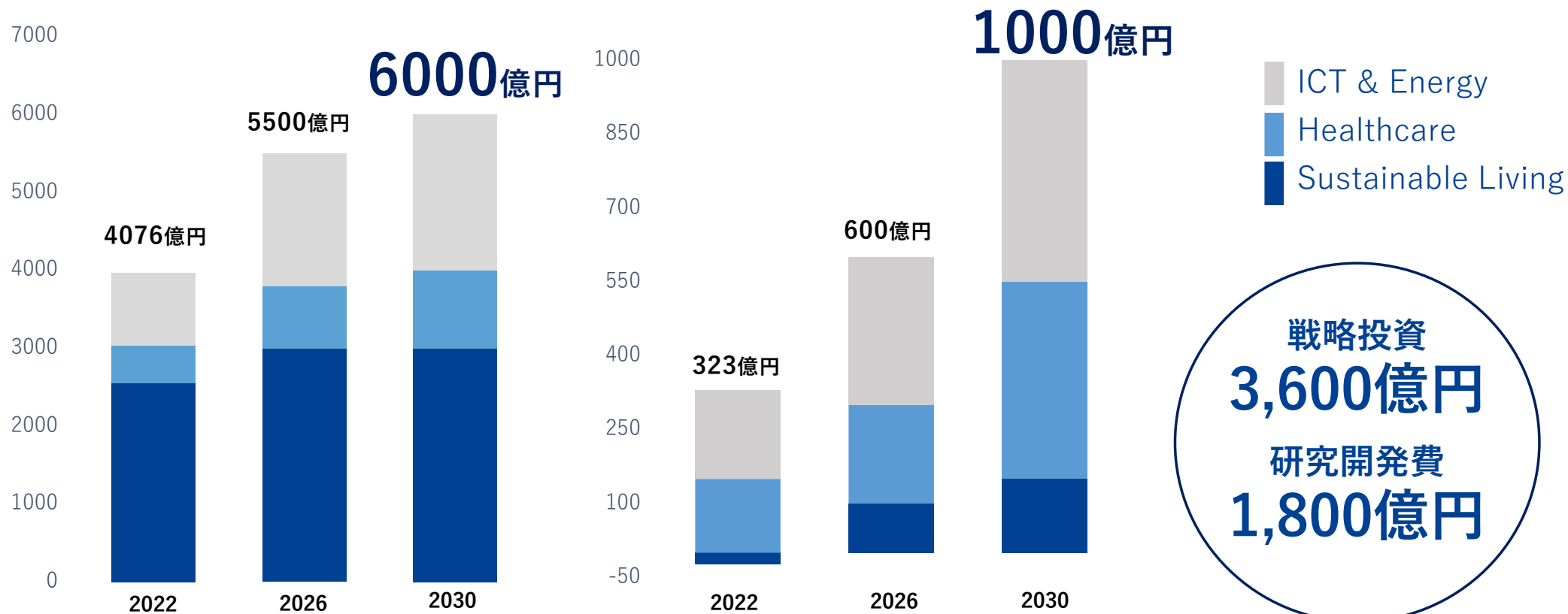
Sustainable Living

サステナブルリビング

スペシャリティ・メガトレンド・サステナビリティの「3つ星事業」を100%に

売上高

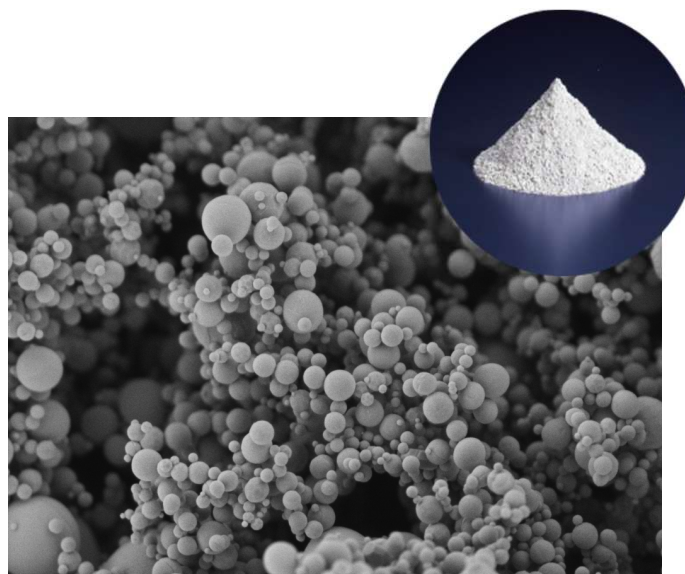
営業利益



「導電」「放熱」「絶縁」を中心に
次世代高速通信、xEV・再生可能エネルギー分野で社会に貢献



アセチレンブラック



窒化ケイ素、球状アルミナ
球状マグネシア、球状シリカ



低誘電有機絶縁材料

「予防」「診断」「治療」の領域で、QOL向上に貢献



インフルエンザワクチン
新規ワクチン開発



抗原検査キット
検査試薬



がん治療用ウイルス
“G47Δ”製剤

世界の気候変動・人口増加に伴う食糧問題に貢献



44社・11団体の参画の
グリーンイノベーション基金事業



国土強靱化
インフラ需要の拡大



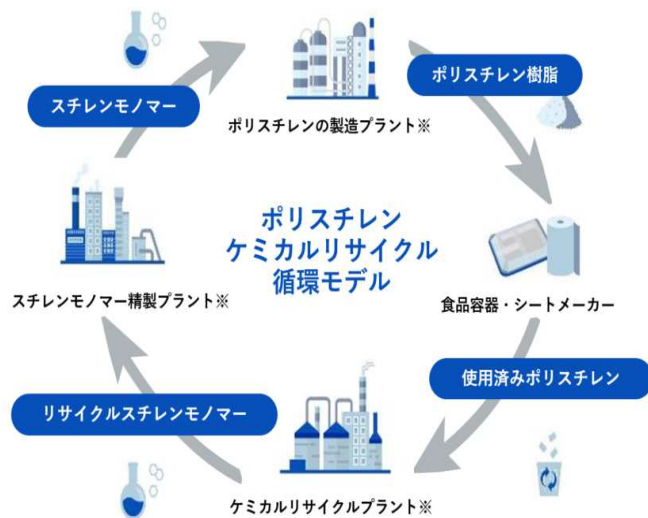
特殊混和材「LEAF®」
(CO₂吸収コンクリート材料)



バイオスティミュラント

サステナビリティの追求

ケミカルリサイクル実装で サーキュラーエコノミー確立



グリーンエネルギー拡大による ゼロエミッション



17ヶ所の自家用水力発電所

M to A (メタン to アセチレン) による アセチレンの低環境負荷かつ大型量産



量産技術確立後に青海工場の
カーバイドチェーンへ展開

人財への投資と制度改革に取り組む

人財育成の強化

ダイバーシティ
エクイティ&インクルージョン推進

健康経営と働き方改革



企業存続の前提となる経営基盤の強化に取り組む

プロセス改革



現場の安全最優先



コーポレートガバナンスの強化



財務・非財務 主要KPI Mission2030における目標値

Denka

財務	営業利益	1,000億円 以上	営業利益率	15% 以上
	ROE	15% 以上	ROIC	10% 以上
	総合計 投資決裁額	5,400億円 (23-30年度8か年)	株主配当 総還元性向	50% 水準

非財務	CO ₂ 排出量	13年度比60%削減
	女性/外国籍/経験者 管理職比率	50%
	再生可能エネルギー 発電最大出力	150MW

(参考) 経営計画「Mission2030」3つ星事業の定義

■ 2030年度までに3要素を満たす目途が立たない製品については、ポートフォリオ変革を進めていく

3要素	定義	設定理由
スペシャリティ	製品別ROIC>10% (過去3年平均)	シェアや独自性、技術力（特許数）の結果として現れる利益に加え、資本効率も重視するため
メガトレンド	注力3分野に該当 (ICT & Energy、Healthcare、Sustainable Living)	メガトレンドから導いた注力3分野に該当していれば成長性に繋がると判断
サステナビリティ	製品別CO ₂ 排出量1万t未満かつ 製品別労働生産性>5百万円	CO ₂ 排出量は2030年60%削減、2050年カーボンニュートラルへ向けた明確なKPIがあるため、欠かせない。 また、労働生産性の低い事業は、今後の労働人口減少により事業継続困難となる

(参考) 経営計画「Mission2030」メガトレンドの内訳

事業セグメントとMission2030のメガトレンド（営業利益目標内訳）

セグメント	2026年度	2030年度	経営計画	メガトレンド3分野	2026年度	2030年度
電子・先端プロダクツ	300億円	450億円	→	ICT & Energy	300億円	450億円
ライフイノベーション	200億円	400億円	→	Healthcare	200億円	400億円
エラストマー・ インフラソリューション	30億円	50億円	┌ └→	Sustainable Living	100億円	150億円
ポリマーソリューション	70億円	100億円				
合計	600億円	1,000億円		合計	600億円	1,000億円

(参考) IR資料関連リンク

新たなビジョンと次期経営計画「Mission 2030」(2022年度3月期 第2四半期 決算説明会資料より)

https://www.denka.co.jp/storage/ir/library/pdf/376/20221108_denka_vision_mission2030_materials.pdf

経営計画「Mission2030」スタートと 窒化珪素・がん治療用ウイルスG47Δ製剤の成長戦略(2022年度3月期 決算説明会資料より)

https://www.denka.co.jp/storage/ir/library/pdf/386/20230511_denka_ir_materials_topics.pdf

2023年度 第1四半期 決算説明会資料

https://www.denka.co.jp/storage/ir/library/pdf/391/20230807_denka_ir_materials.pdf

Denkaレポート(統合報告書) 2023年度版は9月末発行予定

<https://www.denka.co.jp/ir/report/>

ESG情報サイト

<https://denka.disclosure.site/ja>

広報誌「The Denka Way」(年4回発行)

<https://bookshelf.wisebook4.jp/html/denkawebbook/50906/#1>

世界に誇れる、化学を。

Denka